

持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ
「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」へ加盟

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は2023年5月1日、全世界において2050年までに温室効果ガス排出量ゼロとする目標を支持し、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループである「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」に加盟しました。



JCLP ロゴ

持続可能な脱炭素社会の構築に向け、企業による気候変動対策への取り組みとして自社のみならずサプライチェーン全体での CO₂ 排出量の削減が求められています。YKK AP はパーパスである「Architectural Products で社会を幸せにする会社。」の実現に向けた重要課題の一つとして「環境との共生」に積極的に取り組んでいます。商品の製造におけるエネルギー使用量の削減や、原材料調達などにおける間接排出の削減はもとより、「窓」をはじめとした建築用プロダクツを製造するメーカーとして、樹脂窓など高断熱商品の普及促進により、建築物の冷暖房エネルギー消費を減らすことによる CO₂ 排出量削減への貢献を進めています。

今回の JCLP への加盟により、パリ協定と整合する脱炭素化社会の実現を後押しする意思と行動を社会に示し、脱炭素化推進の取り組みを通じて、国際的及び地域の持続可能な発展に寄与してまいります。

■日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）とは

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む236社が加盟（2023年4月現在）。加盟企業の売上合計は約143兆円、総電力消費量は約73Twh（海外を含む参考値・概算値）。脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。

URL: <https://www.japan-clp.jp>